



今回は大阪城の西側に位置する大阪府立大手前高等学校（大阪市中央区）において12月23日（火）に開催された「防災学習」に、N-EXPOメンバーが講師として参加した活動についてお伝えします。

防災教育出前講座は今まで、小学校や中学校を対象に行ってきましたが、今回は初めて、高等学校（定時制の課程を対象）において実施しました。定時制の生徒さんは色々な年齢層（大手前高等学校のHPによると、16才から70代の方）の方がおられ計40名弱でした。人数が多かったので説明は3回に分けました。

講義は、「もし都市に水害が発生したらどうなるのか」というテーマで行い、水害についての知識を身に付け、災害発生時の危険性やどの様に避難すればよいかを学ぶことを目的としました。講義方法は、パワーポイント「水害について」を使用した説明、ジオラマ模型、大手前高校のある大阪市中央区の水害ハザードマップ等を組み合わせて実施しました。特にジオラマ模型については、豪雨による内水氾濫、破堤することによる外水氾濫、地震による津波が発生した時の都市の水害発生メカニズムを再現することで、危険性を理解しやすく出来るようにしました。

講義中は、聞き慣れない単語やデータが多く出てくる中でも、生徒の皆さんが真剣に耳を傾けている様子が印象的でした。

さらに、講義後に実施したアンケートでは下記のような感想を頂きました！

- ジオラマで視覚的、立体的でとても分かりやすかったです。地下にいる場合、水害が起こるととても怖いと思いました。
- 防災について社会がお金を使い人々が防災を楽しめるようにし、正確な情報（報道）になっていたら、いいと思います。

このような感想を見ると、生徒の皆さんが講義を通じて水害の危険性について理解を深め、今後の防災意識向上に繋げるきっかけにして貰えたと思います。

N-EXPOは今後も、防災を中心とした出前講座活動を積極的に実施して参ります！

大手前高等学校出身の社員も参加！



マンホールから水が噴き出して、生徒さんビックリ！（写真はビックリする直前で笑）



流域治水について説明中